特集

きらめく未来に

近年、子どもや若者を取り巻く環境が大きく変化しています。核家族化や人間関係の希薄化、価値観のめまぐるしい変化、インターネットや携帯電話の普及による有害情報の氾濫･･･。そのひずみがさまざまな形で表面化し、子どもたちの将来に暗い影を落としています。

子どもたちは「三豊の宝」であり、三豊の将来、日本の将来への希望です。このかけがえのない子どもたちが、明るく健やかに育っていくことは、“市民みんなの願い”です。

みとよんと学ぶ

先手の防災

緊急地震速報が放送された**その時！**の対応を学びます。

M's Lesson ④

もしあなたが **デパートやスーパーにいた** なら

- かばんや手荷物などで頭を保護しながら、ショーウィンドーや商品棚から離れ、柱や壁際に身を寄せましょう。
- あわてて出口に殺到すると、パニックになることがあり、危険です。店員の指示に従って、落ち着いて行動しましょう。

広報 みとよ 平成26年 7月号　目次 contents

3 特集 子どもたちのきらめく未来に

10 M's Information みとよくらしのおしらせ①
市職員募集 ／ 臨時給付金 ／ 健康診査・がん検診 ／ 国民健康保険・介護保険・後期高齢者医療保険

14 みとよHOT ほっとNEWS(ホットニュース)

16 M's Information みとよくらしのおしらせ②
市営住宅入居者募集 ／ 防災士養成講座 ／ 国民年金

18 ARTを楽しむinみとよ ／ 三豊の夏祭り

20 M's Information みとよくらしのおしらせ③
成人式スタッフ募集 ／ 本人通知制度 ／ 香川用水通水40周年記念式典 ／ 健康教育講演会 ／ 紙類・布類の持込回収

21 M's 深読みひろば
じんけん探訪 ／ 文化財

22 7月のお知らせ
募集 ／ 相談 ／ 講座・教室 ／ イベント ／ 納税のお知らせ ／ マリンウェーブ ／ 国際交流協会

25 保健・相談

26 ここ笑み通信 ～子育てするなら三豊が一番！～
歯磨きのコツ ／ 特別児童扶養手当と特別障がい者手当・障がい児福祉手当 ／ M's smile ふぉとぎゃらりぃ ／ 乳幼児健診　など

28 みとよ写真帳 ／ 編集後記

三豊市の人口 ※平成26年6月1日現在　(　　)内は前月比

世帯数 23,311 世帯(+55)　総人口 66,384 人(-29)　男 31,616 人(-38)　女 34,768 人(+9)　※香川県人口移動調査による

表紙 今月の市民力

子どもたちの健全な育成を推進する「三豊市少年を守る会」。42人のメンバーで有害図書の回収や喫煙・薬物防止キャンペーンなどに取り組んでいます。

今年2月には、その地道な活動が評価され、三豊警察署から感謝状が贈呈されました。

豊嶋洋子会長は「皆さん一人ひとりが地域の子どもたちを〝育てる〟という気持ちをもってもらえれば、子どもたちがより健やかに過ごすことができるのではないかと思います。皆さんも私たちと一緒に次世代の子どもたちを〝育てて〟いきませんか」

少年を守る会の皆さんは、地域の父・母として、今日も育成活動に取り組んでいます。

みとよの子どもは みとよで守ろう！

毎年7月は「社会を明るくする運動」の強調月間です。この運動は、犯罪や非行の防止と罪を犯した人たちの更生について理解を深め、犯罪のない地域社会を築こうとする全国的な運動です。1日の出発式には三豊地区の保護司会や更生保護女性会、BBS会など約200人が集結。1カ月にわたり、犯罪や非行防止の街頭キャンペーンなどを実施しています。

ほかにも、登下校時の見守り活動を行う「子ども・地域安全見守り隊」や、市内をくまなく走り防犯強化に努める「安全安心パトロール隊」、有害図書の回収や喫煙などの防止を呼びかける「少年を守る会」など、多くの皆さんが子どもたちを見守っています。

今回は、「地域の子どもは地域で守る！」を合言葉に、次代を担う子どもたちの成長を願い、同じ志をもって活動を続ける皆さんを紹介します。

少年非行の現状

高い再犯率と進む低年齢化

県下で、平成25年中に検挙・補導された非行少年※の数は723人。前年に比べマイナス139人と、4年連続で減少しています。

しかし、再犯者の割合は依然全国平均を上回っており、低年齢化傾向も進んでいます。

三豊警察署管内の平成25年中の非行少年数は50人。前年に比べ13人減少しました。また、飲酒・喫煙・暴走行為・深夜はいかい・不良交友などの不良行為で警察に補導された20歳未満の不良行為少年は185人と、前年に比べて91人減少しました。

三豊警察署では学校などを訪れ、子どもや保護者を対象に非行や薬物乱用防止を呼びかける教室を開催し、規範意識の向上を図っています。

地域密着の活動が非行の減少に

「市内では子どもたちの健全育成を目的に、市独自の取り組みも含め、数多くの活動が行われています。これらの地域に密着した地道な活動が少年非行の減少につながっていると考えられます」と三豊警察署の山地生活安全課長は言います。地域の活動が、確実に効果として表れています。

市内には防犯カメラ付き緊急警報装置が20機設置されています。警報ボタンを押すと警報音を聞いた地域の皆さんが駆けつけ、ボタンを押した人の保護と警察への通報を行います。ほかにも、警察から委嘱された少年警察補導員と呼ばれる民間ボランティアの人が、少年のたまり場となりやすい場所を重点に街頭補導活動を行うなど、地域の協力が三豊の安全を築いています。

非行少年の件数が減少する一方、インターネットを利用したサイバー犯罪は多発しています。

「インターネットは、とても便利ですが、これを悪用した犯罪もたくさんあります。怖いのは、サイバー犯罪は気がつかないうちに被害にあうだけでなく、加害者になることもあるということです。今は小学生も携帯電話を持っている時代です。サイバー犯罪だけでなく、非行を防止するためには、家庭における教育がとても大事です。いいことと悪いことのけじめを教えたり、子どもの声に耳を傾けるよう心掛けてください」

三豊警察署生活安全課長　山地秀一さん

※非行少年とは、犯罪少年、触法少年およびぐ犯少年

平成25年中
三豊警察署管内における不良行為少年の状況（三豊警察署提供）

	総数	飲酒	喫煙	粗暴行為	暴走行為	家出	深夜はいかい	怠学	不良交友	その他	前年比
総　数	185	5	49	1	8	4	83	9	6	20	-91
小学生	12							2		10	4
中学生	38	2	10			4	9	7		6	-5
高校生	64		18		6		35		4	1	-46
その他	71	3	21	1	2		39		2	3	-44

（単位：人）

少年を守る会は、こんな活動をしています

▲地域安全キャンペーン

安全・安心で明るく住みよいまちづくりを目指し、関係団体と合同でキャンペーンを実施。

有害図書などの回収

有害図書などを回収・運搬。白ポストのペンキ塗りなど修繕活動も実施。

補導車による広報活動

非行に走ったり、被害にあったりしないように注意を呼びかけながら巡回。

▲万引き防止キャンペーン

のぼりを掲げ、買い物客に万引きの防止を呼びかけ。増加傾向にある万引きの現状を知ってもらうため、中学生も参加。

▲喫煙防止キャンペーン

未成年者の喫煙防止を呼びかけ。駅構内や周辺の清掃活動も併せて実施。

通学路の安全確保 緑の車 出動中！

安全安心パトロール隊 423人

青色の回転灯に、一際目立つ緑色の車、下校時間に流れる「なんしょんな♪」の軽快な音楽。

これは三豊市安全安心パトロール隊（通称：グリーンパトロール隊）の皆さんによる子どもの見守り活動です。現在423人の皆さんが、子どもたちの安全を確保するため、一丸となって毎日パトロールをしています。

田代聰子さん・典子さんは、親子で活動して4年目を迎えます。最初に誘いを受けた典子さんは「自分の子どもたちにしてくれていたことを、次は私たちがこれからの子どもたちのためにしたいと思い、母と二人で始めました」

グリーンパトロール隊
田代 聰子さん、典子さん
（左から）

典子さんは会社に勤めながら活動しています。「職場の理解があってできています。都合が悪い時は交代したり、チームで補いながらやっています」と典子さん。この活動は生活の負担にならないよう、できる人ができる時に当番制で行っています。

「くまなくパトロールすることで、不審者が潜むカゲがなくなり、犯罪の抑止につながります」二人は大浜地区の担当ですが、詫間地区や松崎地区にも足を運びます。

「子どもたちに『いつもありがとうございます』と声をかけてもらったときは、やってきてよかったなって感じますね」と笑顔で話す二人。活動の輪が広がることを期待しながら、今日も緑色の車に乗って子どもたちの安全を見守っています。

みとよの子どもはみんな我が子

少年を守る会 42人

継続することが大切

赤く塗ってある郵便ポストではなく、白色に塗られたポストを見かけたことはありますか。

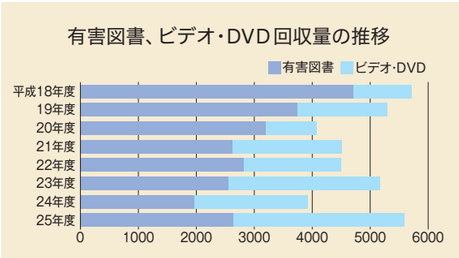
これは「青少年に悪影響を及ぼす有害な図書やビデオ、DVDなどが子どもたちの目に触れることなく処分されるように」との思いから設置されたポストです。

その回収などを行っているのが「三豊市少年を守る会」の皆さんです。豊嶋洋子さんは発足当時から会長を務め、子どもたちの健全育成を推進してきました。

「市内17カ所に白ポストを設置しています。42人の会員が毎月回収し、収集場所まで持ち運んで、環境浄化に努めています」

平成25年度の回収量は、5,589点。有害図書は減少傾向にありますが、DVDの数は増加しています。

「インターネットや携帯電話が普及して、子どもたちは簡単に情報を入手することができるようになりました。回収したからといって子どもたちの身近にある有害環境が大きく改善したとは言えません。地味な活動でも、正しい行動を継続する、そしてその行動を子どもたちに見せることがとても大切なことだと思っています」



（平成25年度いくせいより）

少年を守る会
会長　豊嶋　洋子さん

何気ない声かけがSOSの早期発見に

豊嶋さんは少年育成センターの補導員なども務め、約30年にわたり健全育成に携わってきました。

「巡回時に声かけをすることがあります。『さようなら』『暗くならんうちに帰りよ』『気をつけてね』といった何気ない言葉ですが、これが非行を未然に防いだり、子どもたちが発するSOSのサインを早期に発見することにつながればと考えています。

母心が今も自分の原動力になっています。活動しているメンバー全員も〝みんな自分の子ども〟だと思って、取り組んでいます。

子どもたちの健やかな成長を願って、ぜひ皆さんも一緒に活動に参加しませんか」

地域ぐるみで安心・安全力アップ！

子ども地域安全見守り隊 1250人
子どもSOSの家 1150軒

「子どもSOSの家」は、子どもたちが道路や公園、広場などで身の危険を感じたときに、助けを求めることができる緊急の避難所です。現在の登録数は約1,150軒。助けを求めてきたときは、安全を確保し、警察への通報や子どもの自宅や学校へ連絡をとるなどの適切な対応を行います。

また、校区ごとに「子ども・地域安全見守り隊」があり、約1,250人の隊員が子どもの登下校時に同伴したり、立哨を行ったり、地域ぐるみで子どもを見守っています。

岩本 松夫さん

桑山小学校区の見守り隊「桑山セーフティボランティア」を発足した岩本松夫さん。これを機に「子どもSOSの家」への協力を呼び掛けるとともに、SOSの家を示すのぼり旗を制作しました。

「子どもたちに、この制度を知ってもらうことが重要なんです。看板やのぼりが多く立つことで『たくさんの温かい目があなたたちを見守っているよ』と感じてもらうことが大事だと思います」

見守り活動は同伴だけでなく、登下校時に合わせて散歩や畑仕事を行うなど、メンバーに負担がかかり過ぎないよう工夫しながら、活動しています。

「心がけていることは声かけです。日々の声かけが、子どもたちとの信頼関係を生み、〝いざというとき〟の強みとなります。

もっとたくさんの人に参加してもらい、事故のない日が続くようにしたいですね」

道路に面した門など、子どもたちからよく見える所に掲示している看板

犯罪のない社会を地域のチカラで

三豊地区保護司会 53人

市内には現在53人の保護司がおり、犯罪や非行をした人の更生支援などに取り組んでいます。

「犯罪や非行をした人たちの再犯防止だけでなく、地域の皆さんに非行防止を呼びかけるなど、予防活動も行っています」と話す三豊地区保護司会の坂田知己会長。中学校にも足を運び、子どもたちに非行の防止を呼びかけています。ほかにも、リーフレットや広報車による啓発活動を行ったり、自治会長や民生委員などに更生と予防の意識を深めてもらうため、研究会を開催したりしています。

▲社会を明るくする運動弁論大会。各中学校から選ばれた代表者7人がそれぞれの経験をもとに、社会を明るくするための自分の考えや思いをしっかりと発表。

平成25年5月、豊中庁舎の4階に「三豊地区更生保護サポートセンター」が開設しました。これは、保護司会の活動拠点として、更生保護女性会など関係団体や地域との連携を強化し、安全・安心なまちづくりを行うことを目的に設置されたものです。ここには保護司が常駐し、犯罪や非行の相談にも応じています。

「犯罪や非行をする人がいない地域、過ちからの立ち直りを支える地域を作るためには、たくさんの『地域のチカラ』が欠かせません。これからも地域に根ざした活動展開を図っていきたいです」

三豊地区保護司会
坂田知己会長(右)とサポートセンターの開所に尽力した浮田和敬前会長

三豊地区更生保護サポートセンター
開設時間 月～金曜日 午前9時～午後4時
電話番号 ☎62・1055

子どもたちの健やかな成長を願って

少年育成補導員 150人

少年育成センターでは、毎日小・中学校の先生や一般補導員と市内を巡回し、補導活動を行っています。また、週に一度、駅前を中心に登校時の早朝補導にあたるほか、祭りなどのイベント時にも補導や声かけをしています。

「人が集まりそうな所に行くのですが、外遊びをする子どもが、昔に比べて減ったように感じます。そのため、非行を把握しにくくなり、問題行動の早期発見が難しくなりました。家庭でのコミュニケーション力がより一層重要になると思います」

補導のほか、育成センターでは電話による相談も行っています。平成25年度の相談は140件。友だち関係やいじめ、不登校、進路、思春期など相談内容は多様化・複雑化しており、子どもを取り巻く社会環境が大きく変化していることが分かります。

「もうすぐ子どもたちは夏休みです。家庭や地域の中での生活が中心になります。大人がよい手本を示し、子どもを健やかに育んでいきましょう。健やかな成長には、まず親子の信頼関係が一番だと言われています。そして、それと同じくらい地域との関わりと温かい目が必要になります。

多くの皆さんが子どもたちの健やかな成長を願い、活動してくれています。私たちは地域との関係を密にし、気持ちを一つに取り組んでいきたいと思います。

『自分の住むまちは、自分たちで守る』という意識をもって、三豊の子どもたちの健全育成を願いませんか。『安全安心パトロール隊』『少年を守る会』など、ボランティア活動に参加したい人は、ぜひ少年育成センターまでご連絡ください」

▼問い合わせ
少年育成センター
☎62・1115

中学生に補導活動や奉仕活動を通して日頃の生活を見直してもらおうと、毎年「一日補導員」の体験活動を行っています。昨年参加した北岡千尋さんにインタビューしました。

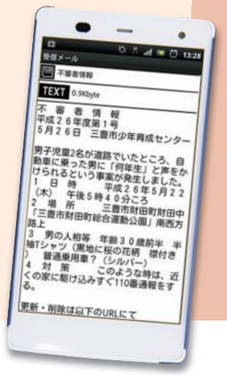
家族のような安心感

「三豊警察署やショッピングセンター、駅に行って、非行の現状などを聞きました。特に驚いたことは、万引きがとても多いことです。小学生からお年寄りまで幅広い人が犯罪に手を染めていることを聞き、他人事ではないなと感じました。

私は小学校に入学する時に引っ越してきました。以前住んでいた所では一緒に登下校してくれる人は見たことがなかったので、移り住んですごく安心して通学できています。「おはよう」とか「おかえり」と声をかけてくれて、家族のような安心感があります。その気持ちに応えられるよう学校生活や日常生活をもう一度見つめ直してみようと思います。

そして、日頃の恩返しとして、地域の清掃活動などにも積極的に参加したいと思います。大きくなったら、私も次の子どもたちのために、見守りなどの活動をしたいです。

不審者情報をメールで配信中！



少年育成センターでは、子どもたちの安全を守るため、犯罪の発生情報、声かけなどの不審者情報などをメールで一斉配信しています。

次の方法で、メールアドレスを登録し、配信を希望する情報を選ぶと、携帯電話などでメールを受け取ることができます。

【登録方法】
携帯電話で下のQRコードを読み取るか、メールアドレスを入力し、空メールを送信。
・メールアドレス
mitoyo697001@once.88island.jp

送信すると登録用メールが届きますので、情報を入力して、本登録をしてください。

▲QRコード